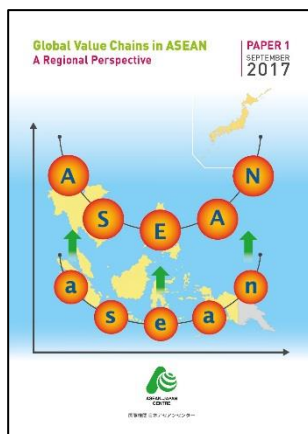


2017年9月1日
国際機関日本アセアンセンター

日本アセアンセンターが ASEAN 地域における グローバル・バリュー・チェーンの現況および持続可能な開発に向けた活用について 政策提案を含む研究成果を発表



論文「Global Value Chains in ASEAN: A Regional Perspective」

国際機関日本アセアンセンター（東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル 1 階 事務総長：藤田正孝）は、9月1日、ASEAN¹地域におけるグローバル・バリュー・チェーン（GVC）に係る研究成果を発表しました（英語のみ。URL：www.asean.or.jp/ja/centrewide/）。本研究は ASEAN 地域における GVC についての分析に加え、更なる持続可能な開発という観点から、GVC による利益を最大化しリスクを最小限に留めるための ASEAN 諸国の政策決定者に対する実践的な提言も含むものです。

今回発表した「Global Value Chains in ASEAN: A Regional Perspective（ASEAN におけるグローバル・バリュー・チェーン：地域的視点）」と題する論文は、センターが今後発表することを予定している GVC についての 16 本の論文のうちの一つです。既にセンターは 2017 年 7 月に、フィリピンを採り上げた論文を発表しており、残りの 14 本の論文についても順次発表していきます。² これらの論文はセンターが Eora³と国連貿易開発会議（UNCTAD）の協力を得て構築した付加価値貿易に関するデータに基づいています。

¹ ASEAN（東南アジア諸国連合）は、1967年に結成された地域協力機構。加盟 10 カ国（ブルネイ・ダルサラーム、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム）総人口は 6 億 3 千万人を超える。

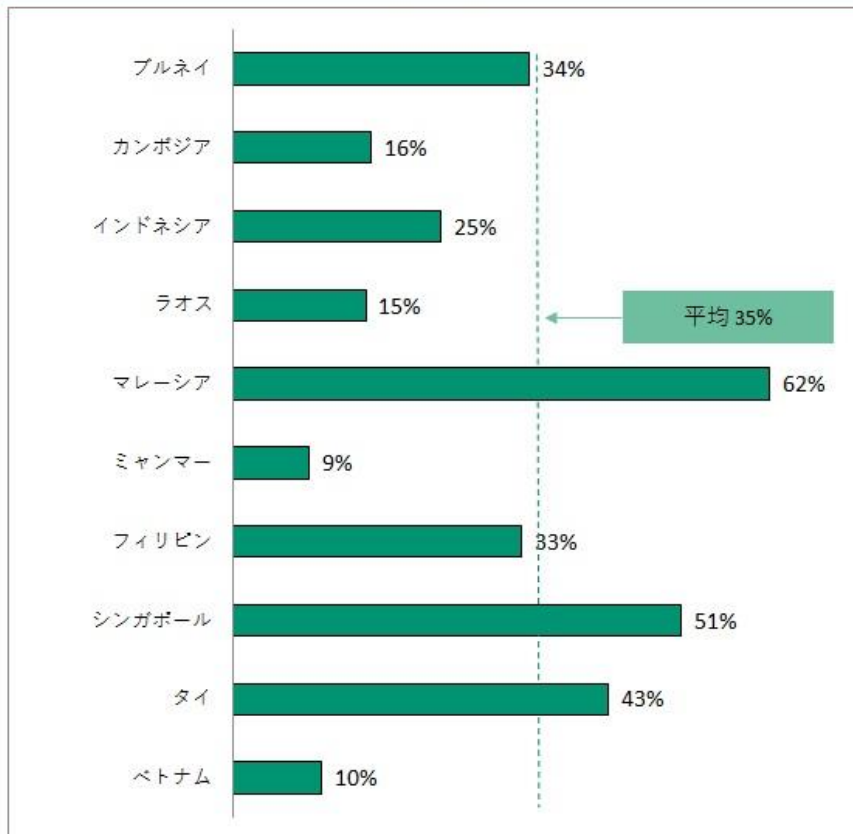
² 本件は、ASEAN 各国のバリュー・チェーンに関するデータを構築・更新し、同データに基づき分析論文を作成する、複数年に亘る研究活動の第一段階。本事業では、計 16 本の証拠に基づく、政策志向の論文を作成する。この度発表した ASEAN 地域全体に関する論文（Paper 1）に加え、ASEAN 各国を対象にした論文が各 1 本（Paper 2～11）、また、電気機器、自動車、衣服及び繊維製品、アグリビジネスと観光の 5 つの産業分野に焦点を当てた論文が各 1 本（Paper 12～16）発表される予定。

³ Eora はシドニー大学に本拠地を置く、国際色豊かな研究プロジェクト・チームであり、「多地域インプット・アウトプット データベース」（www.worldmio.com）を開発した。同データベースは、付加価値貿易の推定値の基になっており、センターによる GVC に関しての研究事業において使用されている。

本論文の要旨は、次の通りです。

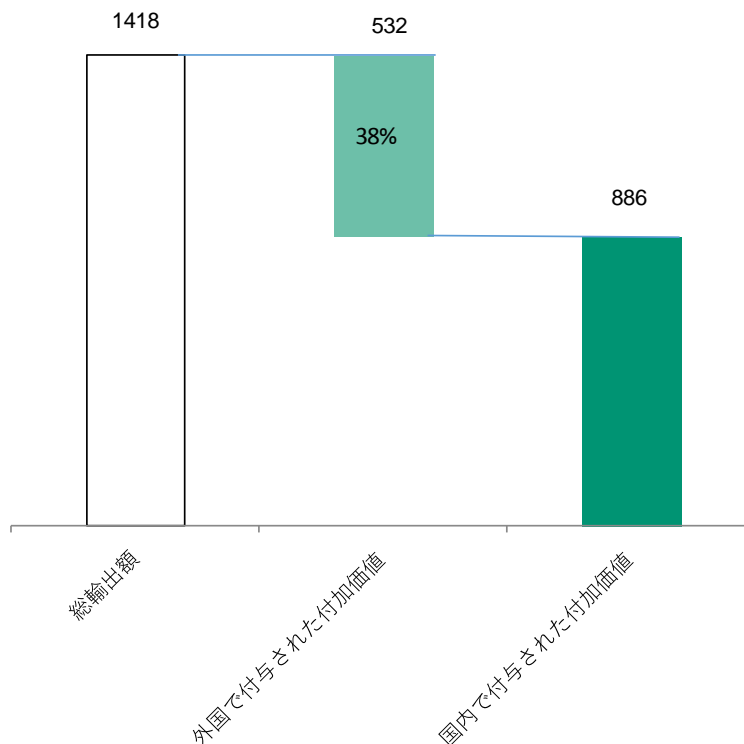
- **ASEAN 地域における GVC は地域の経済成長に大きく寄与し得る。** ASEAN 各国の輸出に占める付加価値（国内で付与された付加価値：DVA）は、2013 年には平均して各国 GDP の約 35%を占める【図表 1】。DVA は GDP に貢献する輸出の一部である。
- **ASEAN 地域の GVC 参加率は、EU に次ぎ、世界で 2 番目に高い。** 2013 年の ASEAN 地域からの付加価値輸出は総額 1 兆 4,180 億米ドルに上り、内 5,320 億米ドル（38%）は、外国から輸入された付加価値、8,860 億米ドル（62%）は国内で付与された付加価値である【図表 2】。一国の輸出に含まれる外国で付与された付加価値は、外国付加価値（FVA）と称し、バリュー・チェーンの上流部分に相当する。ASEAN 地域からの輸出における外国から付与において 2000 年代の初めまで、長期にわたり最も多かった国は日本であり、次いで米国であった【図表 3】。しかしながら、2000 年代半ばより、両国からの付与の割合は減少している。他方、ASEAN 域内及び中国からの付与の割合が高まっている。
- ASEAN 諸国からの輸出品もまた、他国の輸出品の中間生産物として使用され得る。このバリュー・チェーンの下流部分もまた、GVC の重要な指標である。上流部分（FVA）と下流部分の組み合わせ（他国の輸出に統合される国内で付与された付加価値：DVX）は、GVC への全体的な参加を表す。ASEAN 地域の 65%という参加率は、世界の地域グループの中でも 2 番目に高い【図表 4】。ASEAN 地域からの輸出の 3 分の 2 は、GVC と関連がある。
- **GVC への参加はコストを伴う。** 持続可能な開発への GVC の貢献は、FVA の割合が大きく GDP への貢献が少ない場合、また、国が低い付加価値生産活動にはまってしまった場合には、限定的となる可能性がある。
- **センターによる研究は、ASEAN 地域の GVC に必要な一般的な政策枠組みを提案する。** 同枠組みは、GVC への更なるアクセス、GVC への参加から恩恵を得ること、また、GVC をグレードアップする機会の実現を目指している。さらに、枠組みは、次の要素から成る。
 - ◇ GVC を開発戦略全体及び産業開発政策に組み込む。
 - ◇ 促進的な貿易・投資環境を維持し、基礎構造条件を整備することにより、GVC の成長を可能にする。
 - ◇ 現地企業の生産力を拡張する。
 - ◇ GVC への参加に伴うリスクを軽減する。これは、環境上、社会上、またガバナンスの観点からの強固な枠組みを必要とする。
 - ◇ 貿易と投資の二つの政策分野及び関係機関における相乗効果を特定し、同二分野についての政策を調整する。

図表1：輸出における国内で付与された付加価値：GDPIにおける割合（2013年）
（割合 %）



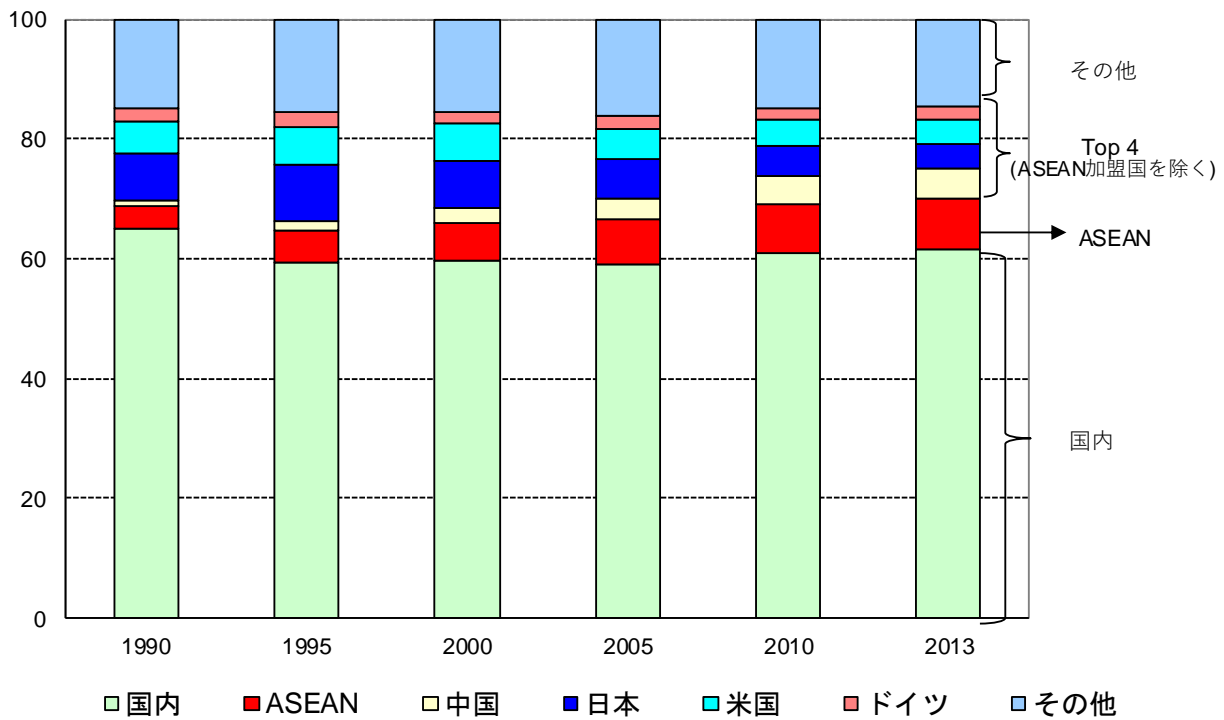
出典：日本アセアンセンター「Global Value Chains in ASEAN: A Regional Perspective」

図表2：ASEANからの付加価値輸出（2013年）
（10億米ドル）



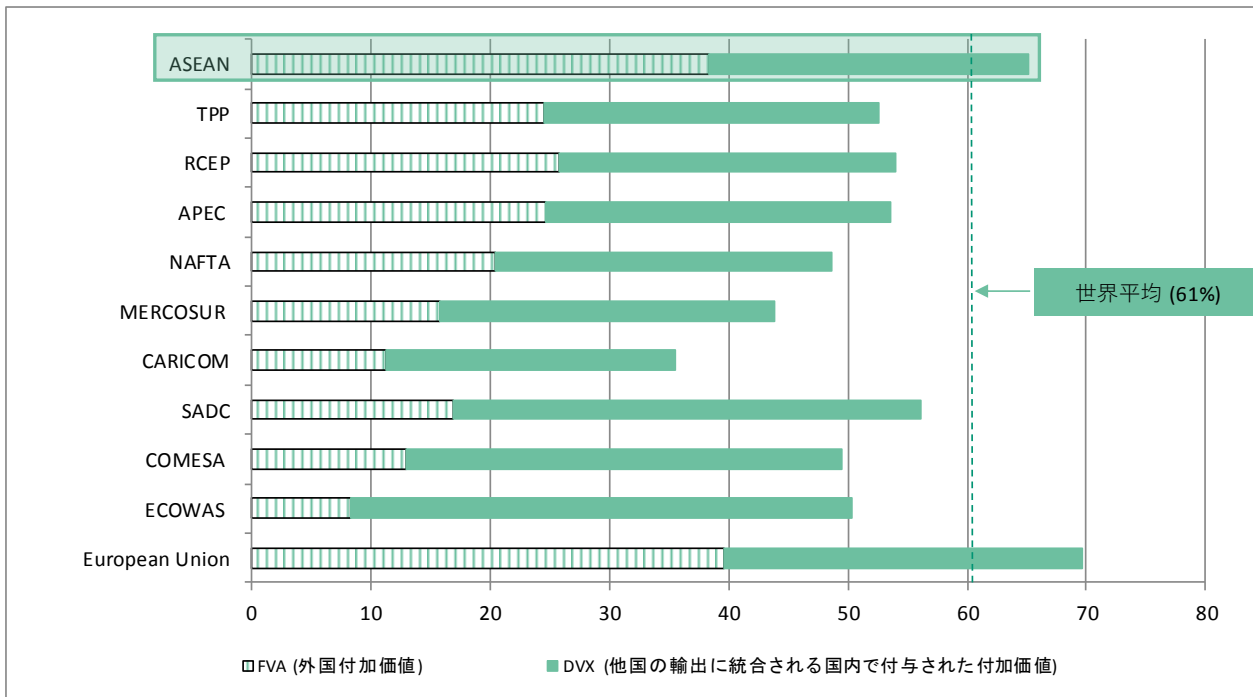
出典：日本アセアンセンター「Global Value Chains in ASEAN: A Regional Perspective」

図表3: ASEANからの付加価値輸出: 付加価値を付けた国の内訳
(1990年、1995年、2000年、2005年、2010年、2013年)
(割合 %)



出典: 日本アセアンセンター「Global Value Chains in ASEAN: A Regional Perspective」

図表4: 地域グループ比較: GVC参加率 (2013年)
(総輸出の割合)



出典: 日本アセアンセンター「Global Value Chains in ASEAN: A Regional Perspective」

注: TPP = Trans-Pacific Partnership (including the United States); RCEP = Regional Comprehensive Economic Partnership; APEC = Asia-Pacific Economic Partnership; NAFTA = North American Free Trade Agreement; MERCOSUR = Mercado Comum do Sul; CARICOM = Caribbean Community; SADC = Southern African Development Community; COMESA = Common Market for Eastern and Southern Africa; ECOWAS = Economic Community of West African States.

<<国際機関日本アセアンセンター>>

正式名称：東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター

ASEAN10 カ国政府と日本政府により 1981 年に設立。

貿易・投資・観光・人物交流の 4 分野を中心に、ASEAN 商品の輸出促進、日系企業の進出支援、人材育成、日 ASEAN 間の観光促進等を通して、日本と ASEAN 諸国との関係促進に貢献する国際機関です。

URL : <http://www.asean.or.jp/ja/>

<<本リリースについてのお問合せ先>>

国際機関日本アセアンセンター 企画調整官室

東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル 1F

Tel : 03-5402-8118 Fax : 03-5402-8003

E-mail : ajc-pr@asean.or.jp
